

令和6年度

教職課程

自己点検・評価報告書

中国学園大学

令和7年6月

## 中国学園大学 教職課程認定学部・学科（免許校種・教科）一覧

- ・現代生活学部 人間栄養学科（栄養教諭一種）
- ・子ども学部 子ども学科（幼稚園教諭一種、小学校教諭一種）

### 大学としての全体評価

本学の目的は学則に明文化している通り、教育基本法及び学校教育法の規定及び本学園の自律創世の教学理念に基づき、地域との連携を取りながら、豊かな人間性と専門的能力を備えた社会人を養成することである。教学理念における自律とは、自ら考え、判断し、行動することを意味している。また、創世は、どのような状況にも柔軟に対応し、地域社会の発展に貢献しようとする心構えを持つことを指している。これらを合わせた自律創世は、単に自己中心的な行動を超えて、他者との協働を通じて社会に貢献する力を育むことを目指すものである。

この本学の目的及び教学理念に基づき、現代生活学部人間栄養学科では栄養教諭養成課程において、人の栄養に関わる新しい知識と技能を創造し、人の健全な食生活について企画・管理・指導できる教員養成に取り組んでいる。また、子ども学部子ども学科では幼稚園教諭養成課程および小学校教諭養成課程において、地域との連携の中で深い子ども理解を基礎として子どもの文化・社会の向上と子どもの教育の発展に資する実践的能力を有した教員養成に取り組んでいる。

本学の教育課程における所定の教職科目の履修及び教育実習や介護等体験などの実習の実施により取得できる教員免許状は、現代生活学部人間栄養学科においては栄養教諭一種免許状、子ども学部子ども学科においては幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状となっている。

教員養成に関しては、教職課程科目担当教員が計画的に知識・技能及び教員としての資質の醸成を図るとともに、地域の学校園と連携して実習指導を行っている。さらに、事前指導、事後指導、巡回指導等を通して学生の支援と実習内容の定着を図っている。教職課程の運営面に関する審議は、各学部から免許課程ごとに選出される委員によって構成する教職課程委員会が担当している。同委員会では、教職課程の設置と廃止、運営、教育実習の指導と単位認定、自己点検評価等の事項を審議している。また、教職課程のカリキュラム策定や講師の任免に関しては、中国学園大学教授会のもとで教務委員会とも協働し、中国学園職員による事務支援を受けて相互に連携して円滑な教職課程の運営に当たっている。

教員免許状の取得者の内、教職に就いた者の数は多くないが、幼稚園（認定こども園を含む）が14名、小学校が12名と、一定の教員を輩出できていることから、教職課程を有する大学としての役割は果たせていると考える。今後、更に教職課程の改善と指導の充実を図り、より質の高い教員養成に努めたい。

中国学園大学  
学長 加賀 勝

## 目次

I	教職課程の現況及び特色	1
II	基準領域ごとの教職課程自己点検・評価	6
	基準領域1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な 取り組み	6
	基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援	9
	基準領域3 適切な教職課程カリキュラム	12
III	総合評価（全体を通じた自己評価）	15
IV	「教職課程自己点検・評価報告書」作成プロセス	16

## I 教職課程の現況及び特色

### 1 教職課程の現況

- (1) 大学名：中国学園大学  
 (2) 学部名：現代生活学部人間栄養学科、子ども学部子ども学科  
 (3) 所在地：岡山市北区庭瀬83番地  
 (4) 教職課程の履修者数及び教員数

#### ①教職課程の履修者数

令和6年度（令和6年5月1日現在）  
 (人)

学部・学科名	免許種	教職課程履修者数				合計
		1年	2年	3年	4年	
現代生活学部人間栄養学科	栄養教諭一種	16	7	10	14	47
子ども学部子ども学科	幼稚園教諭一種	50	48	43	55	196
	小学校教諭一種	25	24	24	32	105

#### ②教員数

(人)

学部・学科名	教授	准教授	講師	助教	その他
現代生活学部人間栄養学科	10	4	2	4	
子ども学部子ども学科	7	6	2	2	
備考：					

### (5) 卒業者の現況

課程等（通学）

令和6年度卒業生（令和7年5月1日現在）  
 (人)

就職先 免許種・人数	就職先状況					
	認定こども園		幼稚園		小学校	
	正規	他	正規	他	正規	他
栄養教諭一種						
小学校教諭一種					7	5
幼稚園教諭一種	9		5			

### 2 特色

中国学園大学は、教育基本法及び学校教育法の規定及び本学園の「自律創世」の教育理念に基づき、地域との連携を取りながら、「知識・情操・意思」をバランスよく備え、豊かな人間性と専門的能力を備えた社会人を養成することを目的としている。各学部では本学の目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーに掲げた「知識・理解」「思考・問題解決能力」「技能」「態度」の4観点で示された学士力を養成するため、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを策定している。

現代生活学部人間栄養学科は、体験型の学修を重視して「栄養」と「健康」のプロを目指している。実践的な授業を多く取り入れており、例えば、栄養セミナーでは菜園実習を行い、栽培から料理に至るまでを実践している。また、社会性やさまざまな場面における対応力を養うために、公民館における健康推進啓発活動、絵本を使った食育活動、地元企業や行政との連携活動を行っている。さらに、栄養教諭の経験がある教員がきめ細やかな授業を行うとともに、教育実習においても5日間と期間が短い実習であるため、授業に臨む前に子どもの実態把握（アンケート調査実施）など事前準備を備えた上で、十分な打ち合わせができるよう指導をしている。併せて、採用試験対策も行っている。

子ども学部子ども学科では、「先生になるなら中国学園大学子ども学部」をキャッチフレーズとして、保育現場や学校教育現場はもとより、子どもと触れ合う多くの実践型カリキュラムを準備している。保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状が同時取得できることに加え、カリキュラムの中に子どもの放課後を支援するための内容を盛り込み、放課後児童指導員資格が取得できるようにしている。0歳から12歳までの保育・教育について実践力と対応力を兼ね備えたスペシャリストの養成を目指している。

### 本学の沿革

本学は、昭和37（1962）年4月1日に岡山県岡山市に開学した学校法人平田学園（平成13（2001）年12月に学校法人中国学園に改称）を設置者とする「中国女子短期大学」が始まりである。その後、昭和41（1966）年度から男女共学の「中国短期大学」となった。この「中国短期大学」から発展する形で平成14（2002）年4月「中国学園大学」が開学した。開学当初は現代生活学部のみであったが、平成18（2006）年4月に子ども学部、平成27（2015）年4月に国際教養学部が増設された。大学院は、平成18（2006）年4月に現代生活学研究科、平成23（2011）年4月に子ども学研究科が設置された。

学校法人中国学園及び中国学園大学の沿革は、以下の通りとなっている。

#### 〈中国学園大学の沿革〉

昭和37（1962）年4月	学校法人平田学園設立 中国女子短期大学開学
昭和40（1965）年4月	現在地へ移転（岡山市庭瀬83番地）
昭和41（1966）年4月	中国短期大学に改称
平成元（1989）年4月	学校法人名称を平田学園から中国短期大学に改称
平成13（2001）年12月	学校法人名称を中国短期大学から中国学園に改称 中国学園大学現代生活学部人間栄養学科の設置認可
平成14（2002）年1月	管理栄養士養成施設指定
平成14（2002）年4月	中国学園大学開学 現代生活学部人間栄養学科設置
平成17（2005）年4月	栄養教諭一種免許状取得課程認定（現代生活学部）
平成17（2005）年12月	子ども学部子ども学科の設置認可 大学院現代生活学研究科人間栄養学専攻設立認可
平成18（2006）年3月	現代生活学部人間栄養学科第1期生卒業
平成18（2006）年4月	大学院現代生活学研究科人間栄養学専攻設置 栄養教諭専修免許状取得課程認定（現代生活学研究科） 子ども学部子ども学科設置 幼稚園教諭一種免許状取得課程認定（子ども学部） 指定保育士養成施設認定（子ども学部）
平成19（2007）年4月	小学校教諭一種免許状取得課程認定（子ども学部）
平成19（2007）年5月	岡山県立大学大学院保健福祉学研究科と連携大学院協定締結
平成22（2010）年12月	大学院子ども学研究科子ども学専攻設立認可
平成23（2011）年3月	平成22年度認証評価で「適合」認定 （日本高等教育評価機構）

平成23（2011）年4月	大学院子ども学研究科子ども学専攻設置
平成24（2012）年6月	「学校法人中国学園創立50周年記念式典」挙行 （中国短期大学創立50周年、中国学園大学創立10周年）
平成26（2014）年10月	国際教養学部国際教養学科設置認可
平成27（2015）年4月	国際教養学部国際教養学科設置 中学校及び高等学校教諭一種免許状（英語）取得課程認定 （国際教養学部）
平成29（2017）年3月	平成28年度認証評価で「適合」認定 （日本高等教育評価機構）
平成31（2019）年4月	子ども学部子ども学科定員変更 国際教養学部国際教養学科定員変更 中国学園大学・中国短期大学附属たねのくにこども園開園
令和4（2022）年6月	学校法人中国学園創立60周年
令和6（2024）年3月	令和5年度認証評価で「適合」認定 （日本高等教育評価機構）

### 〈建学の精神・大学の基本理念〉

中国学園大学の母体は「地域の女子の教養を醸成する」ことを目的として、昭和37（1962）年に建学された中国女子短期大学（現在、中国短期大学）である。創始者の初代学長平田定子は「文化の香りのする、心ある、そして風格のある大学」を目指した。その精神は、男女共学に発展した後も変わらず、現在でも受け継がれている。

このような建学意図を踏まえて第二代学長内藤雋輔は教育理念として「あたたかい心、ひらめく英知、たえぬく努力」の三徳目を制定した。そして、第六代学長松畑熙一は学園の歴史に貫かれている精神を「全人育成」の一語で表し、知・情・意のバランスの取れた全人的教育を、地域と連携・協働して展開する大学であることを明示した。さらに、平成31（2019）年度に第七代学長千葉喬三は、教学の理念として「自律創世」を掲げ、「自分自身で考え、自分の意思で行動する（自律）」とともに、常に「自分の思考や行動を社会の発展に活かす（創世）」ように、個々の特性を可能な限り尊重し、知的資質と人間性の向上を指向した教育を行うことを明示した。

### 〈アドミッション・ポリシー 令和6年度入学生用〉

中国学園大学は、ディプロマ・ポリシーに掲げる学士力を身につけた人材を養成するために必要な、基礎的な知識・技能とともに、思考力、判断力、表現力、協調性および主体的に学ぶ態度を高等学校等における学習を通して身につけた、意欲にあふれる人を多様な入試方法により受け入れます。

#### 【現代生活学部人間栄養学科】

- 栄養学の専門家である管理栄養士を目指す人
- 食べ物や食文化、健康について興味や関心がある人
- 食を通じて人や地域とふれあい、人生を豊かにしたいと希望している人
- 栄養学を広く学びそれにより自己実現を志向している人

#### 【子ども学部子ども学科】

- 教学の理念のもと、豊かな人間性の涵養に努め、保育や教育等について専門的に学びたいという意欲のある人
- 保育や教育等に関する教育課程を学修するために必要な、基礎的な知識・技能とともに、思考力、判断力、表現力、協調性および主体的に学ぶ態度を有している人
- 保育や教育等に関する専門的能力を身につけた保育者・教育者となり、社会に貢献したいという願いを持っている人

## 〈ディプロマ・ポリシー〉

中国学園大学は、「自律創世」を教学の理念としています。「知識・情操・意思」をバランスよく備え、豊かな人間性と専門的能力を身につけた人材を養成します。

このような人材を養成するため、所定の期間在学し、所属学部において定める学士力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

## 【現代生活学部人間栄養学科】

人の栄養に関する必要な幅広い知識と技術を身につけ、人間性豊かな人格を兼ね備え、るとともに、人々の健康の保持・増進に貢献できる人材を養成します。所定の単位を修得した学生に学士（栄養学）を授与します。

## ＜知識・理解＞

栄養に関する専門的知識を有し、技量等を統合して健康の維持増進や疾病予防・治療に応用できる。

## ＜思考・問題解決能力＞

全人的な観点から対象者を理解し、科学的根拠に基づいた論理的思考および判断ができ、ライフステージの特性に応じた健康の維持増進、疾病予防・治療に貢献できる。

## ＜技能＞

対象者の栄養状態を的確に評価することができ、他職種と連携して問題解決のための栄養ケア計画および栄養指導・支援ができる。

## ＜態度＞

職業人としての倫理を身につけ、人権、人格を尊重し、行動することができる。また、豊かな人間性と社会性を持ち合わせ、信頼される管理栄養士として社会に貢献する志と自己研鑽する意識を持つことができる。

## 【子ども学部子ども学科】

教学の理念のもと、「知識・情操・意思」をバランスよく備え、豊かな人間性と専門的能力を身につけた保育者・教育者を養成します。所定の単位を修得した学生に学士（子ども学）を授与します。学士力とは、「知識・理解」「思考・問題解決能力」「技能」「態度」から成ります。

## ＜知識・理解＞

保育や教育等に関する幅広い教養と専門的知識を修得し、子どもに関わる様々な場面で主体的に活用することができる。

## ＜思考・問題解決能力＞

子どもに関わる様々な場面から、主体的に問題を見だし、問題解決の方法を探究し、計画を立てて実践し、振り返って次の問題の発見・解決につなげていくことができる。

## ＜技能＞

保育や教育等に関する専門的スキルを修得し、子どもに関わる様々な場面で主体的に活用することができる。

## ＜態度＞

子どもに関わる様々な場面において、子どもの最善の利益を実現するために、主体性を持って多様な人々と協働して問題解決を図ろうとする。

## ＜根拠となる資料・データ等＞

- ・資料1：2024年度学生募集用A4両面カラーチラシ「中国学園大学子ども学部子ども学科保育士資格 幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状 4年間で3つ同時取得できる！」
- ・資料2：2024年度学生募集用A5リーフレット「中国学園大学子ども学部子ども学科保育所、幼稚園 認定こども園、小学校の先生になるなら！」

- ・資料3：朝日新聞出版AERA MOOK『就職力で選ぶ大学2025』（2024年8月30日発売）に広告掲載「中国学園大学 特別篇 大学のトップが語る いま必要な力と学び INTERVIEW 加賀勝学長」
- ・資料4：教員養成に係る教員及び授業科目に関すること  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/04/f60fd591fe207bcad9f4fdb15934dfa1.pdf>
- ・資料5：教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること  
教員養成に係る組織及び教員の数  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/5f1d4089b4a56b2a034beebe5831e696.pdf>  
中国学園大学 各教員が有する学位及び業績  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/a1bb70250f4f80ead61bd4e98dc1eed8.pdf>
- ・資料6：教育研究上の基本組織に関すること  
中国学園 組織図  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/07/354b95064b86072603cf2a11fdcaaa01.pdf>  
中国学園 事務組織図  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/58778a71f7cfeee309e2367b14386fa2.pdf>
- ・資料7：教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること  
専任教員数  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/5f1d4089b4a56b2a034beebe5831e696.pdf>
- ・資料8：教員一人あたりの学生数  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/12936ec23d72d2891abea41090db441b.pdf>
- ・資料9：各教員の研究業績一覧 中国学園大学  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/a1bb70250f4f80ead61bd4e98dc1eed8.pdf>
- ・資料10：令和6年度自己点検評価書 令和6（2024）年6月 中国学園大学
- ・資料11：2024年度 学生便覧 中国学園大学
- ・資料12：中国学園大学・中国短期大学 CHUGOKU GAKUEN GUIDE BOOK 2025、pp. 11-12、pp. 23-30

## II 基準領域ごとの教職課程自己点検・評価

### 基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み

#### 基準項目 1-1 教職課程教育の目的・目標の共有

##### 〔現状〕

教職課程教育の目的・目標を、「卒業認定・学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」（資料 1-1-1）等を踏まえて設定し、育成を目指す教師像とともに「中国学園大学ディプロマ・ポリシー」「中国学園大学カリキュラム・ポリシー」は学生便覧、Web シラバス、ホームページ、大学案内に明示して、学生に周知している（資料 1-1-2）。

現代生活学部人間栄養学科の教育目的・目標は以下の通りである。

現代生活学部は、現代及び将来の生活に必要な知識と技術を創造し、これを社会へ提供しながら、自主性に富む人格を育成することを目的とする。

人間栄養学科は、人の栄養に関わる新しい知識と技能を創造し、人の健全な食生活について企画・管理・指導できる管理栄養士を養成することを目標とする。（大学設置基準第 2 条、中国学園大学学則第 1 条第 2 項第 1 号）（資料 1-1-3）

子ども学部子ども学科の教育目的・目標は以下の通りである。

子ども学部は、子ども学の研究を通して現代社会における子ども支援に多面的に貢献できる人材の育成を目的とする。

子ども学科は、地域との連携の中で深い子ども理解を基礎として子どもの文化・社会の向上と子どもの保育・教育の発展に資する実践的能力を涵養することを目標とする。（大学設置基準第 2 条、中国学園大学学則第 1 条第 2 項第 2 号）（資料 1-1-3）

育成を目指す教師像の実現に向けて、関係教職員が「中国学園大学教職課程委員会」を定期的開催し、教職課程の目的・目標を共有し、教職課程教育を計画的に実施している。令和 6 年度において「中国学園大学教職課程委員会」は 5 月 15 日、9 月 11 日、12 月 26 日、令和 7 年 3 月 12 日の計 4 回開催した。

##### 〔優れた取組〕

教職課程教育を通して育もうとする学修成果（ラーニング・アウトカム）を、「卒業認定・学位授与の方針」を踏まえて、中国学園大学の「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」として具体的に示し、可視化を図っている（資料 1-1-2）。

また、本学の「ディプロマ・ポリシー」及び「カリキュラム・ポリシー」として Web 上に公開するとともに、教職課程委員会を定期的開催し、各学部の指導計画・指導内容を共有するとともに、適正な指導が行われているか点検し、振り返りを行っている。

##### 〔改善の方向性・課題〕

教職課程担当教員が複数いる現代生活学部と子ども学部については、より綿密な情報共有を行い、協働的に学生指導にあたるよう努める。

UNI PA（教務システム）の運用における学修支援システムを活用した学生の学修目標の達成状況の可視化、履修指導の改善をするよう努める。

### <根拠となる資料・データ等>

- ・資料 1-1-1 : 「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)の策定及び運用に関するガイドライン(平成28年3月31日大学教育部会)  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1369248.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1369248.htm)
- ・資料 1-1-2 : 中国学園大学のディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)  
<https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab3>
- ・資料 1-1-3 : 2024年度 学生便覧 中国学園大学

## 基準項目 1-2 教職課程に関する組織的工夫

### 〔現状〕

教職課程認定基準を踏まえた教員を適切に配置し(資料 1-2-1)、研究者教員と実務家教員及び事務職員との協働体制を構築している(資料 1-2-2)。教職課程の運営に関して中国学園大学教職課程委員会と学部の教職課程担当者として適切な役割分担を図っているが、担当職員が減少傾向にある。

教職課程教育を行う上での施設・設備が整備され、クロームブック貸出や1人1台PC、Pepperやロボホンによるプログラミング教育等ICT教育環境の適切な利用が可能となっている。

また、教員養成に係る組織及び教員の業績等の状況については、中国学園ホームページにおいて、適宜、情報公開している(資料 1-2-1、資料 1-2-2、資料 1-2-3、資料 1-2-4)。

### 〔優れた取組〕

教職課程の質的向上のために、「中国学園大学FD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会」並びに、「中国学園大学SD(スタッフ・ディベロップメント)委員会」が中心となって、授業評価アンケートの活用や公開授業、そのフィードバックをはじめ、FDにおける授業・カリキュラム改善、教育・学生支援体制の整備等やSDにおける教職員の能力開発の取り組みを積極的に展開している。

中国学園大学教職課程委員会と学部教職課程担当者とは連携し、教職課程の改善を目的とした自己点検・評価を行うことで、組織的に機能させる取り組みを行っている。

教員が授業・教育方法の改善を行うため、教員相互の授業参観を年に2回(前・後期各1回)、それぞれ2週間の授業公開期間を設けている。この期間、原則として全教員の授業が公開される。教員は空いている時間に自由に他の教員の授業を参観できる。互いに授業を参観し、授業の導入・展開・まとめといった流れに加えて、資料等の使い方等良い点や改善点を指定された用紙に記入し、教務課へ提出してもらっている。そして、その結果を授業担当者・教員にフィードバックを行っている。令和6年度前期は6月17日～28日に実施し、後期は11月25日～12月6日に実施した。

授業方法の改善等についてのFD研修会を、学内教員または外部講師により、授業改善・カリキュラム改善等の研修会として年2～3回実施している。令和6年度は、全学的には、8月5日、9月12日、9月18日の3回実施し、教職課程委員会では、9月11日に実施した。

授業評価アンケートを各期実施している。学生はUNI PA(教務システム)上で科目ごとにアンケートページにアクセスすることができ、回答するアンケート情報が表示された画面に沿って入力する。自由記述欄も設け、学生の意見を聴取している。その後回答データを処理し、各学部長への評価結果共有及び各教員にフィードバックすることで授業改善及び指導力向上に努めている。

卒業する学生に対し、2月中旬～3月中旬までにUNI PA上のオンライン回答方式

で授業、資格等について卒業生アンケートを実施している。

### 〔改善の方向性・課題〕

各学部の教職課程担当教員間での情報共有のみならず、教務課との連携の必要もあるため教職課程委員会において、情報共有を綿密に行う必要がある。学生の実態と高校生のニーズを踏まえて教育課程を見直す。UNI PA上の学修ポートフォリオを活用して、学生の学修成果の獲得状況を把握及び可視化し、教育課程・教育活動の改善に活用する。

受け入れた三年次編入生が教育目的・ディプロマ・ポリシーを実現できるよう教育課程を見直す。

デジタル技術を有効に活用した教材作成や授業方法等にかかるFDを、全学的に推進する。

### <根拠となる資料・データ等>

- ・資料1-2-1：教員養成に係る教員及び授業科目に関すること  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/04/f60fd591fe207bcad9f4fdb15934dfa1.pdf>
- ・資料1-2-2：教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること  
 教員養成に係る組織及び教員の数  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/5f1d4089b4a56b2a034beebe5831e696.pdf>  
 中国学園大学 各教員が有する学位及び業績  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/a1bb70250f4f80ead61bd4e98dc1eed8.pdf>
- ・資料1-2-3：教育研究上の基本組織に関すること  
 中国学園 組織図  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/07/354b95064b86072603cf2a11fdcaaa01.pdf>  
 中国学園 事務組織図  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/58778a71f7cfefee309e2367b14386fa2.pdf>
- ・資料1-2-4：教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること  
 専任教員数  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/5f1d4089b4a56b2a034beebe5831e696.pdf>  
 教員一人あたりの学生数  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/12936ec23d72d2891abea41090db441b.pdf>  
 各教員の研究業績一覧 中国学園大学  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/a1bb70250f4f80ead61bd4e98dc1eed8.pdf>

## 基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援

### 基準項目2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成

#### 〔現状〕

当該教職課程で学ぶにふさわしい学生像を「入学者受入れの方針」等を踏まえて、「中国学園大学アドミッション・ポリシー」として具体的に示し、学生の募集や選考及びガイダンス等を実施している（資料2-1-1）。

「教育課程編成・実施の方針」等を踏まえて、教職を担うにふさわしい学生が教職課程の履修を開始・継続するための基準（実習科目を履修登録できる条件を設定する等）を学部ごとに設定している。「卒業認定・学位授与の方針」も踏まえて、当該教職課程に即した適切な規模の履修学生を受け入れている。

現代生活学部人間栄養学科では、教員による高校訪問・出張講義を強化したり、高等学校等で行われるガイダンスに参加したりしている。また、令和6年度には、栄養士養成課程をもつ四国の2つの短期大学と連携協定を締結し、三年次編入生の確保に努めている。

子ども学部子ども学科では、教員による高校訪問を強化し、岡山県に加え、近県にも重点を置き、入試広報課参与や中国短期大学保育学科教員と一緒に訪問した。訪問の状況は、学科会議で報告・共有している（資料2-1-2）。

#### 〔優れた取組〕

現代生活学部人間栄養学科は、「子どもたちが好きで、その成長を食事面から支えたい」と考えている栄養教諭を養成している。

子ども学部子ども学科は、「人間性と実践力を備えた先生」を育成している。希望すれば、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の「3つの資格・免許を同時取得可能!」とし、「SDGs推進保育士・教師の養成」「地元に着目した保育者・教育者養成」を行っている。これらに関しては、大学案内（資料2-1-3）に記載している。

#### 〔改善の方向性・課題〕

本学の魅力を高校生に届ける広報活動、高大連携等によるアドミッション・ポリシーを周知する。

オープンキャンパス、高校訪問等の改善・充実を図り受験者の確保につなげたい。また、同窓会とも連携し、県北・県外からの入学者の確保を図りたい。

子ども学部子ども学科では、入学希望者を増やすため、総合型選抜入試への事前の取組などの工夫、Webによる情報発信、独自の高校生対象イベント等を行いたい。具体的には、次の3点を重点目標としている（資料2-1-4）。

- (1) 情報発信の強化：①全教員によるインスタグラムの更新。  
更新の情報を学科会議で報告・共有。  
②グッズの発送。
- (2) オープンキャンパスの充実：繰り返し参加するほど楽しくなる企画の立案。
- (3) 入学希望者の開拓：高校生・中学生が参加できるイベントの開催。

#### <根拠となる資料・データ等>

- ・資料2-1-1：中国学園大学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）  
<https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab>
- ・資料2-1-2：2024年度中国学園大学子ども学部子ども学科経営方針  
(2024.9.4)
- ・資料2-1-3：中国学園大学・中国短期大学 CHUGOKU GAKUEN  
GUIDE BOOK 2025、p.32
- ・資料2-1-4：2025年度中国学園大学子ども学部子ども学科経営方針  
(2025.4.2)

## 基準項目 2-2 教職へのキャリア支援

### 〔現状〕

学生の教職に就こうとする意欲や適性を把握するために、就職担当者や各学年に担任、チューターを配置したり、個別面談を行ったり等の支援を行っている。

就職支援課（就職支援センター）を中心として、学生のニーズや適性の把握に基づいた適切なキャリア支援を組織的に行っている。学部の教職課程担当者は、就職支援課（就職支援センター）と連携し、教職に就くための各種情報を提供している。また、本学園内での連携や県や市の教育委員会とも連携をとっている。

### 〔優れた取組〕

中国学園大学教職課程委員会と学部の教職課程担当教員が協力し、1年次から教員採用試験対策セミナーの実施等、免許状取得件数、教員就職率を高める工夫をしている（資料2-2-1）。

キャリア支援を充実させる観点から、子ども学部子ども学科では、学生の有志と教員による教員採用試験対策プログラム「教志会」が、4年間を通して採用試験対策セミナーを計画的に実施・運営している。学生は、筆記試験や模擬授業などの具体的な対策を行い、自信をつけて試験に臨んだり、学年を超えて刺激し合いながら就職へ向けて準備したりすることができている。令和6年度卒業生に占める公立保育職合格者は延べ13名、公立小学校教諭合格者は延べ8名であった。

教職に就いている卒業生や地域の多様な人材等との連携を図っている。例えば教員として活躍している卒業生や園長など先輩教員（ゲストティーチャー）による講話を聴く機会を設けている。

実践の場を意識した環境とサポート体制として中国学園大学・中国短期大学附属「たねのくにこども園」を見学したり、演習を行ったりするなど学園内で連携をとっている。また、保育室を模倣した教室で、ロールプレイングなどができたり、授業の空き時間にグランドピアノが置かれている練習室で自由に練習でき表現力を磨くことができたりするなど、学習環境が整っている。

さらに+αで様々な体験の機会として、課外活動として「日ようび子ども大学」「おやこひろば」を実施し、乳児から小学生まで、子どもとの関わりの場を多く設けている。これらに関しては、子ども学部の魅力として、「実力が身につく！実践的な授業」「自分を磨く！充実した学習環境」「豊富な採用試験対策プログラム」「視野が広がる課外活動！」「学生に寄り添った支援」を掲げ、学生が入学から卒業まで、安心して充実したキャンパスライフが送れるようにしている（資料2-2-2、資料2-2-3）。

現代生活学部人間栄養学科では、事後指導として岡山県教育庁保健体育科の指導主事を特別講師として招き講演していただいている。

UNIPA（教務システム）上の学修ポートフォリオを利用し、学修成果の可視化が可能となった。学生の当初目標に対し、教員がフィードバックすることで次期の目標も立てやすくなった。

### 〔改善の方向性・課題〕

教育現場への就職率について、子ども学部子ども学科では、幼稚園・認定こども園・保育所等の就学前教育現場に比べて、小学校への就職人数は増えつつあるがまだ少ないという点が課題であると認識している（資料2-2-4）。

三年次教員採用試験受験に向けた早期からのキャリア支援体制を強化したい。授業と連動して、教志会が採用試験対策セミナーを計画的に実施し、下学年からの参加を促す。また、筆記試験、面接・集団活動、模擬授業などへの対策を強化する。教職への就職を促進するため、きめ細かな進路面談や就職情報を提供する機会を増やしたい。

また、課外活動「こども・あごら」「教育支援人材」「子どもボランティアクラブ」「教志会」において、子どもと触れ合う機会を学生に提供し、学年進行に伴う教職希望を継続

- ・維持させたい。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料2-2-1：卒業者の教員免許状の取得状況に関すること  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/05/bed84739f880ffba4d503a3b045bebf0.pdf>
- ・資料2-2-2：2024年度中国学園大学子ども学部子ども学科学生募集用A4チラシ
- ・資料2-2-3：2024年度学生募集用A5リーフレット「中国学園大学子ども学部子ども学科 保育所、幼稚園 認定こども園、小学校の先生になるなら！」
- ・資料2-2-4：卒業者の教員への就職の状況に関すること  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/05/f23e9e04c51473519fe58d6036ee11e1.pdf>

## 基準領域3 適切な教職課程カリキュラム

### 基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

#### 〔現状〕

教職課程科目に限らず、卒業までに修得すべき単位を有効活用して、教職課程教育を行っている。学科等の目的を踏まえ、教職課程科目相互とそれ以外の学科科目等との系統性の確保を図りながら、コアカリキュラムに対応する教職課程カリキュラムを編成している。教職課程カリキュラムの編成・実施にあたり、教員育成指標を踏まえる等、今日の学校教育に対応する内容上の工夫をしている（資料3-1-1）。

今日の学校におけるICT機器を活用し、情報活用能力を育てる教育への対応が充分可能となるように、情報機器に関する科目や教科指導法に関する科目等を中心に適切な指導を行っている。

教職課程科目はもちろん、すべての科目のシラバスにおいて、各科目の学修内容や評価方法、ルーブリック等を学生に明確に示している（資料3-1-2）。

教育実習を行う上で必要な履修要件を学部ごとに設定し、教育実習を実りあるものとするよう指導を行っている。

教職課程カリキュラムの体系的な編成にあたっては、科目ナンバリング及びカリキュラムマップとカリキュラムツリーに明確にしている。これらは中国学園ホームページで公表している（資料3-1-3）。

#### 〔優れた取組〕

現代生活学部人間栄養学科においては食に関する指導と学校給食の管理についての、子ども学部子ども学科においては優れた保育者・教育者になるための幅広い教養と専門的な知識・技能を身につけるため、アクティブ・ラーニング（「主体的・対話的で深い学び」）やグループワークを促す工夫により、課題発見や課題解決等の力量を育成している（資料3-1-4）。

「履修カルテ」等を用いて、学生の学修状況に応じたきめ細かな教職指導を行い、「教職実践演習」の指導にこの蓄積を活かしている。

さらに、より効果的に教師としての力量を身に付けていくために、学修ポートフォリオを活用している。学修ポートフォリオを作ることで学生が自ら学修を振り返り、現在の到達点や今後の課題を考える機会を確保している。ナンバリング、カリキュラムマップ及びカリキュラムツリーを見直し、ディプロマ・ポリシーの実現に向けた科目の位置づけを明確にした。

#### 〔改善の方向性・課題〕

適切な教育方針とシラバスに基づいて教職課程科目の指導を行っているが、年々学校教育を取り巻く喫緊の課題は変化するため、それらに対応できる教員養成ができるよう、常に学生の学修状況を踏まえた丁寧な授業指導・学修指導に取り組むとともに、教授内容の見直しと改善を行い、教授方法の工夫を行う必要がある。

近隣の教育系大学との差別化を図るため、特色ある学部・学科、魅力あるコースについて研究する。

#### <根拠となる資料・データ等>

- ・資料3-1-1：中国学園大学のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)  
<https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab2>
- ・資料3-1-2：中国学園大学 教員の養成に係る授業科目のシラバス  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/05/74a4d5b2b5d61974ef3e5334b3c7a624.pdf>

- ・資料3-1-3：カリキュラムツリー  
中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/05/6135be42ccb7704d94191fd402bb31fe.pdf>
- 中国学園大学 子ども学部子ども学科  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/05/50a7fb31125da7b0cdae39fe6662de51.pdf>
- ・資料3-1-4：教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/05/0dd2a88c7eb531bf1a1fdb7acb456fb8.pdf>

## 基準項目 3-2 実践的指導力育成と地域との連携

### 〔現状〕

取得する教員免許状の特性に応じた実践的指導力を育成する機会を設定している。学校現場の実情を知ったり、直接、児童や幼児とかかわったりする機会としては、様々な体験活動（介護等体験、学校・園支援ボランティア、インターンシップ等）とその振り返りの機会を設けている。

さらに、地域の子どもの実態や学校における教育実践の最新の事情について学生が理解する機会として、学校・園の見学や参観、朝の登校支援の手伝い等をしている。

### 〔優れた取組〕

各学部は、就職支援課（就職支援センター）と協力しながら、教育委員会等との組織的な連携協力体制の構築を図っている。各学部ゼミ活動やボランティア活動等を通して幅広い視野の持てる教育を行っており、実際の学校現場での学びを深める指導を行っている。

子ども学部が遊びや絵本、リトミックなどの活動を子どもたちと取り組むのはもちろんのこと、現代生活学部は附属認定こども園の一角にある菜園での野菜栽培や収穫を子どもたちと一緒にやっている（資料3-2-1）。

特に現代生活学部は食に関する指導や学校給食の管理の面で学校現場と連携した実践的指導力の育成を行っている。また、特に子ども学部では、授業科目である「教育実習A（幼稚園）」「教育実習研究A（幼稚園）」等を附属認定こども園で実施することで、実習指導を連携・協働して実施できている。また、授業科目や卒業研究の成果を同園で子どもたちに発表したり検証したりしている。さらに、附属認定こども園の教育・保育活動に対して、定期的に大学の教員・学生が参画している。

子ども学部では地域の保育所、幼稚園、小学校、公民館等と連携し、「子ども学の探求」「子どもの理解」などの6つの専門領域の科目に、保育や授業の見学、体験などを積極的に取り入れ、子どもを取り巻く多様な問題に対応できる問題解決力を育成している。また隣接する岡山市立吉備中学校との連携による実践的学習の推進により学生の自発性と実践力を高める指導を行っている（資料3-2-2）。

また、教職課程委員会並びに各学部は、教育実習協力校と教育実習の充実を図るために連携を図っている。

### 〔改善の方向性・課題〕

授業において実践的で協働的で能動的な学修活動を行う。実践的な指導力を育成するためには、教育委員会・学校現場との連携が欠かせないため、今後も良好な連携関係を保てるよう、教育実習時の訪問指導等を通して、関係づくりに努める。また、教育実習や参観訪問時に少しでも多くのことを吸収して帰れるように事前指導する必要がある。

### <根拠となる資料・データ等>

- ・資料3-2-1：令和6年度自己点検評価書 令和6(2024)年6月 中国学園大学
- ・資料3-2-2：教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること  
<https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/05/0dd2a88c7eb531bf1a1fdb7acb456fb8.pdf>

### Ⅲ. 総合評価（全体を通じた自己評価）

基準領域1「教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み」においては、本学の教職課程教育の目的・目標を、「卒業認定・学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」等を踏まえて設定し、育成を目指す教師像とともに「中国学園大学ディプロマ・ポリシー」、「中国学園大学カリキュラム・ポリシー」として大学ホームページや大学案内等の印刷物により情報公開している。また、教職課程の実施においては、教職課程認定基準を踏まえた教員を適切に配置し、関係教職員が「中国学園大学教職課程委員会」を定期的に開催し、教職課程の目的・目標を共有し、研究者教員と実務家教員及び事務職員との協働体制を構築し、教職課程教育を実施している。

また、教職課程の改善を目的として教職課程委員会において自己点検・評価を行うとともに、教員相互の授業参観やFD研修会を通して、授業改善・カリキュラム改善に努めている。さらに授業評価アンケートにより学生からの授業評価を受けフィードバックすることで指導力向上に取り組んでおり、今後もより良い教職課程教育が実施できるよう教育改善に努めていきたい。加えてUNIPA（教務システム）上の学修ポートフォリオを活用して、学生の学修成果の獲得状況を把握及び可視化し教育課程・教育活動の改善に活用したい。

基準領域2「学生の確保・育成・キャリア支援」においては、当該教職課程に即した適切な規模の履修学生を受け入れ、「教育課程編成・実施の方針」等を踏まえて、教職を担うにふさわしい学生が教職課程の履修を開始・継続するための基準（実習科目を履修登録できる条件を設定する等）を設定し、教職を志望する学生それぞれの意識の涵養に努めている。

キャリア支援においては、中国学園大学教職課程委員会と学部の教職課程担当教員が協力し、教員に求められる実践的な知識やスキル、そして採用試験に合格できる能力の習得を支援している。例えば、子ども学部子ども学科の「教志会」による1年次からの教員採用試験対策セミナーの実施等、免許状取得件数、教員就職率を高める工夫をしている。課外活動としても、乳児から小学生まで、子どもとの関わりの場を多く設けている。

また、キャリア支援を充実させる観点から、教職に就いている卒業生や地域の多様な人材等との連携を図っている。これら、本学の特色や強みを生かした活動を展開している。

小学校の教育現場への就職者数は、幼稚園・認定こども園・保育所等の就学前教育現場に比べて、微増してきているものの依然として少数であることは課題として認識している。今後、さらに、本学の教員養成理念の広報や学生への教育現場の理解を深めるため一層の取り組みを進めていきたい。

基準領域3「適切な教職課程カリキュラム」においては、本学の特色ある教職課程教育の促進と教職課程科目相互とそれ以外の学科科目等との系統性の確保を図りながら、今日の学校教育を取り巻く喫緊の課題に対応する内容の工夫等に取り組んでいる。さらに、教員になるための幅広い教養と専門的な知識・技能を身につけるため、アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）やグループワークを促す工夫により、課題発見や課題解決等の力量を育成している。

具体的には役割演技（ロールプレイング）やグループ討論、事例研究、現地調査（フィードバック）、模擬授業などを取り入れている。また、ICT機器を活用した効果的な授業の在り方など、情報活用能力を育てる教育への対応が充分可能となるように、情報機器に関する科目や教科指導法に関する科目、教職実践演習等を中心に、教職課程全体を通じて取り組みを続けていきたい。授業科目や卒業研究の成果を附属こども園で子どもたちに発表したり、検証したりする取り組みを通して教師として求められる資質能力実践的指導力の育成を志向している。

さらに、最新の教育動向を理解し、教育現場や社会からの要請に応え得る人材を養成

するため、様々な体験活動（介護等体験、学校・園支援ボランティア、インターンシップ等）の機会を充実させていきたい。また、教育実習受け入れ校や教育委員会等との組織的な連携協力体制を更に進めていきたい。

最後に、今後も教学マネジメント推進委員会及び教職課程担当教員が連携して自己点検をすることにより、本学の「教職課程教育」そのものの充実を、組織的にかつ継続的に図っていきたい。

#### IV 「教職課程自己点検・評価報告書」作成プロセス

教育職員免許法施行規則第22条の8の制定により、義務化された教職課程における自己点検・評価を契機に、教員養成の理念・目標・計画に照らした学修成果の状況等の検証を行うことで、教育・研究の質の維持と向上につなげるための取り組みとして、令和4年3月より、教職課程における「自己点検評価報告書」作成にあたって、教職課程委員会構成員（関係学科から免許課程ごとに教職課程担当教員・教育実習担当教員）・教務部長・教務課長が中心となり検討されている。

「令和6年度 教職課程 自己点検評価報告書」の作成について

- 令和6年度第2回教職課程委員会（令和6年9月11日開催）  
「令和6年度 教職課程自己点検・評価報告書」を作成するにあたって、令和5年度の本学の報告書に対して一般財団法人全国私立大学教職課程協会からのコメントを共有し、評価できる事項、改善が望まれる事項について確認を行う。
- 令和6年度第3回教職課程委員会（令和6年12月26日開催）  
「令和6年度 教職課程自己点検・評価報告書（案）」の進捗状況を報告し、翌2月末を締め切りとし、次回委員会において点検・評価した結果について協議を行うこととした。
- 令和6年度第4回教職課程委員会（令和7年3月12日開催）  
各学部委員（関係学科から免許課程ごとに教職課程担当教員・教育実習担当教員）・教務部長・教務課長・教務課事務員の構成メンバー間で、各学部における教職課程科目及び教育実習の実施内容について自己点検し、各基準領域に関する現状と優れた取り組み、改善の方向性・課題をそれぞれ報告する。教職課程委員会において、報告事項を「令和6年度 教職課程自己点検・評価報告書（案）」としてまとめたものを教職課程担当委員間で共有を行う。
- 令和7年度第1回教職課程委員会（令和7年5月20日開催）  
「令和6年度 教職課程自己点検・評価報告書（案）」について、5月17・18日に教務部長が参加した全国私立大学教職課程協会研究大会の第10分科会において、令和6年度報告書を提出する上で特に留意すべき点が伝えられたことに伴い、記述した意図と根拠を明記しているか、改善が望まれる事項とされた点について何らかの記述をしているかを再度確認し、加筆・修正するよう依頼した。5月末に教職課程委員会において「令和6年度 教職課程自己点検・評価報告書（案）」が承認された。教職課程委員会での審議を経て決定された報告書（案）は、幹部会で協議されて出た意見を反映した上で、教授会での承認を得て、学長に報告のうえ公表に至る。

#### <根拠となる資料・データ等>

- ・資料1：令和6年度第2回教職課程委員会 議事録
- ・資料2：令和6年度第3回教職課程委員会 議事録
- ・資料3：令和6年度第4回教職課程委員会 議事録
- ・資料4：令和7年度第1回教職課程委員会 議事録